

みずほリースとみずほ銀行との間での 初の「サステナビリティ・リンク・ローン」契約締結について

みずほリース株式会社（代表取締役：中村 昭、以下「みずほリース」）は、株式会社みずほ銀行（頭取：加藤 勝彦、以下「みずほ銀行」）との間で、本日、シンジケーション方式による「サステナビリティ・リンク・ローン」（以下「本件」）の契約を締結しました。本件は、みずほリースとして初のサステナビリティ・リンク・ローンを活用した資金調達です。

本件は、借り手のESG戦略と連携したサステナビリティ目標（サステナビリティ・パフォーマンス・ターゲット：以下「SPT」）を設定し、金利などの借入条件をSPT達成状況に連動させることで、借り手に目標達成に向けたインセンティブを与え、環境・社会面において持続可能な経済活動および経済成長を促進し、支援することを目指すものです。

みずほリースは、「ニーズをつなぎ、未来を創る」という経営理念のもと事業活動を通じてステークホルダーと共有できる価値を創造し、持続可能な社会の実現に貢献することを目指しています。同社は、環境・社会課題への取り組みの重要性がますます高まる中、優先的に取り組むべき6つの重要課題（マテリアリティ）を特定し、その中のひとつである「脱炭素社会実現への貢献」に対する取り組みを推進すべく、2023年10月に「サステナブルファイナンス・フレームワーク」（※1、以下「本フレームワーク」）を策定しました。

本件は、本フレームワークに基づいた資金調達であり、SPTとして「2025年度までに再生可能エネルギー発電設備容量1GW確保」を採用しています。

なお、本フレームワークは、ローン・マーケット・アソシエーション等が定めたサステナビリティ・リンク・ローン原則、並びに環境省によるグリーンローンおよびサステナビリティ・リンク・ローンガイドライン（環境省ガイドライン）等への準拠性と設定した目標の合理性について株式会社格付投資情報センター（R&I）からセカンドオピニオン（※2）を取得しています。

〈みずほ〉は、持続可能な社会の実現に向けた取り組み（サステナビリティアクション）を強化しています。環境・社会課題解決に向けた資金の流れを創出するサステナブルファイナンスや金融を超える知見・機能を活用したソリューション提供を通じ、SX（サステナビリティ・トランスフォーメーション）に向けて、お客さまとともに挑戦していきます。

<案件の概要>

融 資 先：みずほリース株式会社
ア レ ン ジ ャ ー：株式会社みずほ銀行
契 約 締 結 日：2024年7月29日
実 行 日：2024年7月31日（予定）
期 間：3年

※1：みずほリース「サステナブルファイナンス・フレームワーク」

https://www.mizuho-ls.co.jp/ja/sustainability/sustainable_finance/main/08/teaserItems1/00/link/sustainable%20finance%20framework.pdf

※2：株式会社格付投資情報センターによるセカンドオピニオン

https://www.mizuho-ls.co.jp/ja/sustainability/sustainable_finance/main/09/teaserItems1/00/link/second%20party%20opinion.pdf

以 上

【本件に関するお問い合わせ先】

みずほリース株式会社 経営企画部 03-5253-6540
株式会社みずほ銀行 広報室 03-5252-6574

ともに挑む。ともに実る。

MIZUHO